

(様式4)

情報公開文書

課題名 : 大腸癌腹腔鏡手術時の体位が術後経過に与える影響についての後ろ向き観察研究
研究期間: 倫理委員会承認日 ~ (西暦) 2024 年 12 月 31 日

1. 研究の対象

2021 年 1 月 ~ 2023 年 12 月に当院で腹腔鏡下大腸癌手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

腹腔鏡手術が普及し、当院でも大腸癌腹腔鏡手術症例の腹腔鏡率が80%を越え増加の一途を辿っています。腹腔鏡手術では体位を傾け重力を利用することで切離や剥離をより施行しやすくすることがある一方で、傾けることによる低位側の皮膚や筋肉の圧迫や高位肢の虚血が術後問題になることがあります。

本研究は、合併症のない安全な腹腔鏡手術を目指した患者の術中固定法を検討することを目的としています。2021年1月以降、大腸癌と診断され当院にて腹腔鏡手術を施行した方を対象とします。術前術後の診療情報を収集して術中体位による影響を調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液, 組織, 細胞, 体液, 排せつ物などヒトの体の一部
術前の患者の BMI、採血項目、大腸癌の部位、術式、麻酔記録、術後採血項目、手術室看護師の術後ラウンドの所見、術後合併症、病理組織学的検査所見、入院期間などの情報を診療録より収集します。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 消化器外科 原田 岳

住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328

電話: 053-453-7111(病院代表)

2023 年 2 月 6 日作成